



平成26年第1回【3月】定例会行政事務一般質問

平成26年第1回定例会（3月）で、3月12日と13日に8人の議員が村政について質問をしました。

質問要旨

議会に対するご意見をお聞かせください。

お電話の場合

☎82-3111(内線150番)

E-mailの場合

gikai@kijimadaira.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会



山崎 純男議員

基幹病院の医師不足対策を

問 飯山赤十字病院には麻酔科の医師が不在となり緊急手術もできないと聞いている。村には小中学校、ホテル、民宿等があり、特に観光産業に与える影響は決して少ないとは言えない。

近隣の基幹病院での診療科目が減り、30分以上かかる北信総合病院まで行くとなると、一刻を争う緊急患者がいた場合、心配になる。基幹病院の医師不足を調査し、対策について村長の考えを伺う。

村長 現在飯山赤十字病院には15の診療科目があり、常勤医師が24人、そして非常勤医師による診療科目が3科、これは形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科での診療体制となっている。

平成26年1月から麻酔科が無くなり、緊急の手術は状況によりできないこともある。医師不足は病院にとっても、観光産業、あるいは地元住民にとっても大変な問題である。

岳北4市村では医師不足対策として、医師不足の診療科に新規の医師が来た場合、3年以上勤務で返済免除となる資金の貸付事業も行っている。

また、病院運営協議会があり、広域

の首長等も出席し、病院に対して要望等を挙げているので、最大限の努力を払っていただけるよう、この運営協議会等を通じて病院へ伝え、村あるいは広域市村として応援ができることがあれば、最大限の努力をしていく。

ふるさと納税者への対応の充実を

問 平成25年度の寄附金総額は250万円であった。年々減少の一途をたどっている。たとえば1万円のふるさと納税があったとすれば、3千円を納税者に返すと7割が収入になる。1千万円の納税額があれば、職員1人分以上の件費になる。来年発足するであろう、農村木島平株式会社に専門部署をもつけ、農の拠点施設で生産された村の特産品を送りたいかがか。

村長 それぞれ寄附という、あるいは税法上の優遇措置も与えられた行為であり、この寄附の代わりに、過度な金品を返すというのは購入といわれる消費と同じような形になるので、あまり良くないというような指導をもらっている。

農の拠点施設で生産された商品を手に入れたら、これからそういうふうになれば一番良いわけで、事業の一環として、寄附に対して相手方にお願ひし、送っていたかどうかということが一番合理的だと思う。提案の件の実施に向けて検討を進めていく。



樋口 勝豊議員

綿密な農の拠点施設設計画を求める

問1 ①村長は議会全員協議会の中で、この新しい農の拠点施設の会社で米を3万俵販売し、一俵3万円で9億円になると説明された。これは本当にできると考えているのか。②企業は人なりと言われている。社長が先頭に立つて仕事をし、社員を引っ張っていくということが、社員の士気を高め、営業の成績を上げる大きな原則であると思う。なぜ村長が社長に就任されたのか伺う。

③事業計画及び収支計画は綿密なしっかりしたものか求められる。建設計画の前にきつちりとしたものを作るべきであり、今回はその順序が逆である。

④直売所たる川は存続したい意向を聞いている。直売所が近距離で2カ所になり、どう対応するのか。⑤収支計画案は、1年目の売上高は1億5660万円、3年目で2億2160万円、5年目では2億8667万円と非常に過大である。

村長 木島平米は全国に通じ、トップクラスの旨い米という評価を得ている

ことは議員もご承知だと思う。村内で生産される米は、概ね3万俵と言われているが、これを有利販売につなげることで、農家の所得の向上が図られるということである。

村全体のために、目標数字を示したものであり、実現可能だと思っている。次に、なぜ村長が社長を務めるかという点については、村民会社だからそれは村長がなるべきであるし、責任を持ってやらせてもらえよという話を全員から出され、私が就任することになった。村を挙げての6次産業化に取り組むわけであり、責任という意味から村長として、この事業を成功させるという意味の社長就任である。

次に、事業計画及び収支計画について、これが、順序が逆だという指摘だが、農の拠点施設を造る方向が決まってから研究会を開催し、実務レベルでまとめてきている。当初は来年度事業というようなこともあったが、緊急経済対策等で、国に配慮をしていただいた。順序が逆だと思っていない。

次に、直売所たる川の件だが、近距離に2カ所あり、現時点では続けていくということであり、2カ所ともお互いに存続できれば何よりも望ましいことである。



大角六七人議員

豪雪地帯に対し税法上の恒久的な措置を望む

問 今年2月雪の少ない地域が大雪に見舞われ、大きな被害を出した。

国・県は激甚災害に匹敵する体制を組み支援を行ったが、本村をはじめとする雪国では毎年のことであり、多くの労力と経済的負担を強いられている。豪雪地帯に対し税法上の恒久的な特別措置を国に対し要請されたい。

村長 豪雪地帯の自治体に対しては、国の施策が講じられている。本村も国の補助事業により除雪機等の整備を行い、村民生活安定のため冬期間の交通確保を行っているが、個人及び企業に対しては税法上の措置はない。税法上どのような措置が必要か、課題の整理と検討をして、特別豪雪地帯連絡協議会や全国町村会等を通じて国に働き掛けていきたいと思う。

芳川村政二期目の主たる政策の進捗状況は

問 芳川村政の二期目も3年を経過し、残り1年となった。主たる政策の進捗状況ならびに今年の政策について尋ねたい。

村長 二期目に掲げた政策の柱と各項目は全て着手し、進展している。具体的には、

* 小学校の統合と教育改革

この統合を機に保育園、小学校の幼児教育的な要素を取り入れた保育の改善、教育改革に現場で取り組んでいる。

* 第三セクターの経営改革

パノラマランドと木島平観光株式会社との合併、会社の黒字化。

* 空き校舎と園舎の利活用

旧南部小学校は農村交流館、旧北部小学校は特別養護老人ホーム、旧やまぶき保育園は若者向け集合住宅、旧ひまわり保育園は住宅地として分譲。

* 耕作放棄地対策

関東農政局の全面的な支援により計画的に村全体の緩衝帯の整備に取り組む。

* 木島平型教育の充実と発展

保育園、小学校、中学校、高校の一貫教育の研究、コミュニケーションスクールの準備。

* 役場周辺整備事業の推進

過疎地域の指定を受け財政的な優遇措置の有効活用をする。

* 農の拠点施設整備事業の推進

である。残すところ僅かであるが、一生懸命取り組んでまいりたいと思っている。



森 正仁議員

役場周辺整備事業の詳細な内容は

問 ①設計等をプロポーザルというシステムに至った経緯。

②今回の設計者を指名した選定理由。③当然、面積および金額の条項があっただろうが、どのくらいか。④その他の施設概要等の要綱はどのような項目があったのか。⑤設計者が決定してからの施設内容の詳細要綱において協議された内容はどんなものがあつたのか。⑥前々回の説明で約13億円、今回は16億3千万円。今回の金額には、資材価格、労務単価の上昇および消費税等の要因は見込まれているのか。⑦最終的に本事業において最高いくらになるのか。その内、補助金を差し引いて村が支払う利子等も含めた総額はいくらか。⑧いつまでの時点で、内部および間取り等の要望、変更は可能か。

参与 ①プロポーザル方式とは、設計者とともに建物と一緒に検討する方式であることから、村民の要望を反映した建物とするに相当と判断した。

②一つ目は、ホールが日常的には開放的な屋内広場として機能する点がすぐれていたこと。二つ目は、木造建築であったこと。三つ目は、農村の風景と融和しつつ、村のシンボルとなるシルエットであること。このような考え方ができる設計者であることを高く評価した。③面積は延べ床面積で4千平方メートル、金額は外構工事を含み、備品や付帯工

事は除いて約13億円。④役場周辺整備の基本構想を踏まえたものであること。当方で示した実施スケジュールに合った施工ができること。村民意見を反映させるためにワークショップに参加すること等を明記した。⑤建物の形状、構造的なもの、部屋の配置大きさ、雪対策をどうするのかなど、建物の細部に至るまで協議している。これら役場周辺整備の検討に関して、村のホームページに随時更新して公開している。

⑥まず13億円というのは、新庁舎、本体の建設に係る費用のみである。一方16億3千万円は、新庁舎本体の建設に加えて、設計費、備品費、村民会館と現庁舎解体費、臨時駐車場の整備費等を含めた全体金額として16億3千万円という数字である。16億3千万円の内、新庁舎本体の建設費は14億円となり、当初の13億円から、消費税が3パーセント上がったこと、平成25年度の公共工事の労務単価が改定されたことから、14億円と変更した。資材価格は詳細を詰めているところなのでまだ反映していない。なお、この2月に、26年度からの労務単価が25年度に比べて7.1パーセント上昇したが反映していない。⑦総工事費で16億3千万円の内、村の実質負担分は10億4千万円である。現在の予算内に収める努力をするが、現実的には規模を縮小するか、予算を増やす必要に迫られる公算が高い。対応については、基本設計とともに具体的に示させていただく。⑧4月に基本設計が完了すると、致命的なミスを除いて、大きく設計を動かすことは厳しくなる。



湯本 隆幸議員

村社会福祉協議会のデイサービス の将来を問う

問 家族が仕事で忙しい中、昼間年老了いた親を家族に代わって介護していただく村社会福祉協議会運営の通所介護サービス、デイサービスは、とても有り難い。利用者の送迎ひとつとっても雨や雪、庭先の条件、玄関前の傾斜、送迎車の駐車スペースなど、義母をお願いして初めてその苦勞を知った。村唯一の事業所のため、善意の寄附や自宅で栽培された農産物の差し入れ、活発なボランティアなど、農村らしい暖かな活動に支えられている。老朽化していく施設や更新が望まれる介護設備に限られた人材が必要とする住民に、提供したい介護サービスを村長としてどのように考えているか。

村長 介護保険の受け皿の中心として、社会福祉協議会がその業務を行っている。旧北部小学校を改築した里山の家木島平は、今日、工事が完成したという報告を受けた。この施設を中心に、農林高校と連携をしながら、農村の機能と環境を活かす研修と人材養成のプログラムを1年掛けて試していくという計画でいる。新しい農村型介護福祉というものをこれから地域が連携をしながらつくっていくと、厚生労働省老健局にも関わっていただきながら、今その研究を始めようとしている。経営の面もあるので、東京などの方々と必要とされる皆さんも、今後受ける。里山の家は29人の定員だが、単体経営では大変厳しい。経営の採算ラインは100人必要だ。東京などの方々の施設を必要とされる待機者を、その自治体と協定を結びながら、新しい施設も造っていく必要も今後の検討課題とする。難しいかもしれないが、目標を持ちながら、こちらで経営が成り立つような仕組みも考えていく必要がある。これは全国では全くないが、多方面のご支援いただきながら構築したいと思っている。

働省老健局にも関わっていただきながら、今その研究を始めようとしている。経営の面もあるので、東京などの方々と必要とされる皆さんも、今後受ける。里山の家は29人の定員だが、単体経営では大変厳しい。経営の採算ラインは100人必要だ。東京などの方々の施設を必要とされる待機者を、その自治体と協定を結びながら、新しい施設も造っていく必要も今後の検討課題とする。難しいかもしれないが、目標を持ちながら、こちらで経営が成り立つような仕組みも考えていく必要がある。これは全国では全くないが、多方面のご支援いただきながら構築したいと思っている。



デイサービスセンターで職員の芸に興じる通所者の皆さん



江田 宏子議員

指定管理者制度の判断基準は

問1 ①施設によって、運営希望の有無に関わらず公募しない理由は。②管理費（補助金）の適正額、村への施設使用料支払いの判断基準は。

総務課長 ①観光施設等、一体的な運営の方が効果的な施設は公募せず、三セクと事前協議し、選定。基本的に公募が望ましいが、政策会社としての三セクをいかに順調にするかという観点や継続性を重視。②自立プランで補助を減額。収支報告書で増額した施設もある。

問2 中町展示館は当初80万円を180万円に増額、郷の家は当初から240万円。両施設とも使用料負担はない。一方、内山和紙体験の家は当初60万円が年々減額され44万円、使用料負担は年12万円。伝統文化継承の役割をどう考えているか。

産業建設課長 伝統文化の伝承は重要と考えている。指定管理者等は和紙の家だけでなく、村全体の施設で整合しながら検討。

6次産業化の具体的な取組み状況は

問 仕組み作り、実績は。

産業建設課長 直売所たる川の事務やイベントのサポート、交流都市で農産品や観光PR。木島平米と地元食材でもてなす店・宿の推進、農林高生徒の開発メニューの商品化、村の特産品力

タログの制作販売。新たな農作物の試作・研究・販売等。

農の拠点計画の村民合意は

問 ①村民合意は取れているという認識か。②うまくいくという自信・根拠は。③既存事業者への影響（売上げ減など）の予測と対策は。④三セクは経営責任が曖昧。誰がどう責任をとるか。

村長 ①農業委員会の建議、大方の村民の声、議会議決等で、合意は取れていると理解。②業界の先端で活躍している方、各省庁や大学等との連携、都市とのネットワークができてきた。日本一の米を中心に、他の農産物の付加価値を付け、絶対うまくいくという思いで頑張りたい。③施設ができれば来村者が増える。デメリットはないが、もし生じれば、その都度調整。④皆で力を合わせて、黒字に持ち込みたい。

財政計画と村政運営の重要点とは

問 ①平成27年度以降の財政計画試算が出されていない。また、村全体の施設の改廃、道路、橋梁の補修計画等も試算に含める必要がある。②村政運営で村長が重きを置いていることは。

村長 ②誇れるふるさと木島平を村民協働で作るためにキャッチフレーズに、他にはない特化した村、持続可能な仕組みを目指す。

総務課長 ①財政計画は、第6次総合振興計画の策定に合わせ、新たな事業を踏まえて試算し、27年度末までには出す。施設・橋梁等の計画は、今後、公共施設等総合管理計画を策定予定。



小林 貴彦議員

消火栓の管理徹底を図りたい

問 地域の安全、安心な暮らしを守るために設置されている消火栓の冬期間の管理作業は消防団員にとって大きな負担となっている。原因として、団員の減少、消火栓とホース格納箱が離れた場所に設置されていることである。消火栓の除雪作業の軽減と火災発生時の消火活動の安全、迅速な対応が求められる。消火栓、ホース等の消火器具が一体的に管理できる雪囲いの設置を要望する。

村長 雪囲いの設置費用と新しい形の消火栓の経費等を比較等しながら、具体的に検討していく。

総務課長 行政指導による消火栓の管理徹底については、村でも機会を捉えながら消火栓に限らず、防火水槽も含め消火水利の確保等の徹底した指導を行っている。



消火栓を一体的に管理する施設の例(北鴨区)

また機械器具点検は、消防部長会で直接消防団長から部長へ指導をしている。

ルクセンブルク交流の今後の取り組み

問 ルクセンブルクとの交流は、村の将来を担う子どもたちにとって貴重な経験であり、大きな財産となるものである。木島平型教育の一環として、将来は中学2年生の学年全員が参加できることが望ましいのではないかと思う。

一方、昨年9月に初めて住民レベルの交流に参加された方々からは、友好と絆を深め、姉妹提携を結ぶことも夢ではなく、可能性を秘めていることに期待を寄せていられることもあり、交流のさらなる発展を目指した今後の取り組みについて伺う。

村長 隔年で子どもたち約10人がホームステイをし、学んだ英語を使うという実践的な体験をさせてあげたいと考えている。家庭的な事情等に制約されない、皆で参加できるように仕組みを、教育委員会とも相談をしながら、具体化に向けて進めている。木島平村がルクセンブルクと交流していることは大使館も周知のとおりで、ルクセンブルクにとっても木島平村は友好的かつ大切な村という位置付けであり、住民レベルの交流を広げていきたいと思っているようです。今後とも村は、このような国際交流を極めて大事なものであると考え、積極的に進めていきたい。



萩原 由一議員

買い物弱者への対応は

問 昨年南部地区にあった食料品店舗が閉店し、高齢者や車の免許の無い方が買い物に大変不便を感じるなど、買い物難民現象が起きた。今後、独居老人世帯や老人世帯の増加が見込まれ、村の福祉施策で救済策を講じる必要があると考えるが、村長の見解は。

村長 買い物について不便だという声がちりちりにも届いている。現在ある商店が今まで置いて無かった品物を置いていただくようになった事も聞いている。また、近所にお願ひし、買い物に連れて行っていただいている状況も聞いている。地域の支え合いができて大変ありがたいと思っている。今後も、住民の皆様と相談しながら具体的な支援の方法を検討していきたい。

農の拠点施設は経営に見合った対応を

問1 6次産業を進めることは村の将来にとって必要と思うが、最初、公設民営方式で運営するという計画で賛成をしたが、公設公営第三セクターで計画が進められている。一般的に事業を始める時は、その内容によってどのくらいの敷地面積、建物、人材が必要となるのが常識と思うが、建物建設をなぜ急ぐのか。建設計画を見直し、会社

が設立され、役員体制も決まり、その中で時間をかけて現実味ある経営計画をたて、経営規模に見合った施設計画を示していただきたいし、新幹線開業に間に合わなくても良いのではないかと。小さな村にとって村の浮沈にかかわる大企業なので広報など一方向的な情報ではなく、各地区へ出向き説明会を開催する意思はないか。

村長 新幹線開業に間に合わせるのではなく、すでに平成23年から方向性は出ているし、地域おこし協力隊を中心に準備もしている。また議会にも経営計画を示している。ここ一年でしっかりと準備すれば充分間にあうタイミングで、妥当な準備期間であると思う。それから全地区ではないが、3年間に渡って各地区に出向き地区づくり懇談会等で説明をしている。いづどこでも何人でも集めてもらえれば出掛けていき、説明会を開きたいと思っている。

問2 巨額をこの事業に掛けることが理解できないし、330人から農の拠点施設建設反対の請願があった。村長は村民の声を真摯に受け止めてほしい。ここで多額な費用を掛けるより、最初は小さく、次第に事業を拡大していくのが得策ではないか。人口が減少しているのに若者への負担を残さないようにするのが村長の役目ではないか。

村長 私は一方的にやっているのではなく、議会、農協、農業委員会の皆様にも相談しながら計画を進めているし、以前の村政とは時代が変わってきていることを理解願いたい。